

きみちゃん
紹介するわ

よろしく
お願いします

東京バレエ団
プリンシパルの
うえのみずか
上野水香ちゃんよ

はじめまして



プリンシパル!?

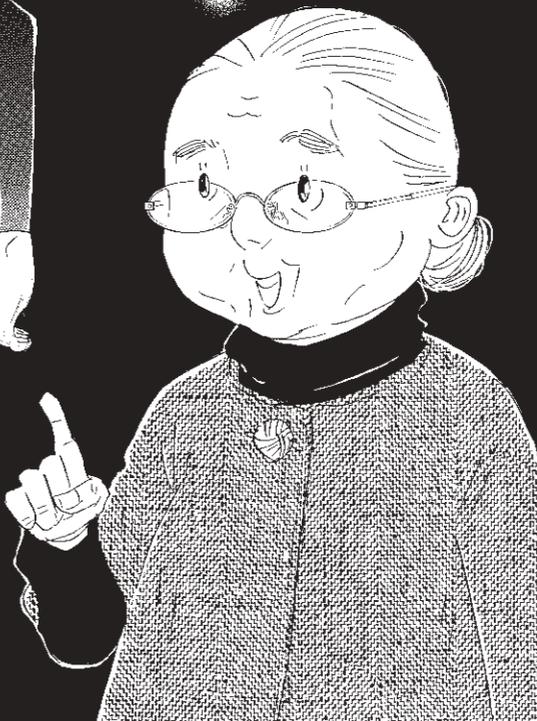
すごい頭身!
自分と同じ人間とは思えない!!!

第二話



何がすごいって
水香ちゃんはね

ベジャールさんから
『ボレロ』を
踊ることを許された
日本で唯一の
女性ダンサーなのよ



私元々は
違うバレエ団に
いたんですけど

当時から
東京バレエ団は
海外ツアーも頻繁に
行っていたから

世界とつながっている
バレエ団だと思って
とても懂れて：

シルヴィ・ギエム
さんが大好きで
『ボレロ』を観て
感動して

自分も
どうしても
ベジャール作品が
踊りたくて
東京バレエ団に
移籍したんです

そうだった
わね：



入団して
2日後

水香！

あなたの
デビューは
フィレンツェに
しよう！



『ドン・キホーテ』の
キトリに決まりだ！

ええ——!!?



それから
これ

ベジャールの
『ボレロ』が
入ってるから
見て覚えて
くれる？

え!?



ぼくはあなたには
『ポレロ』を
踊ってもらいたいと
思ってるんだ

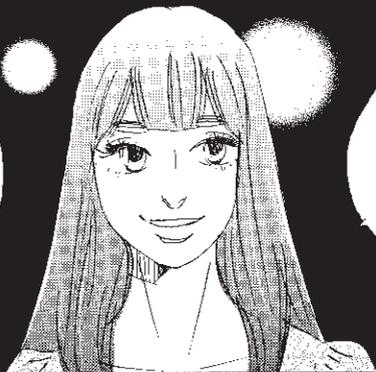
『ポレロ』を踊るのは
私の夢のひとつ

あなたの踊りを
録画して
ベジャールに
送るから
頼んだよ！

佐々木さんはそれを
言わなくても
見抜いていたんだと
思います

そんな
いきさつで

『ボレロ』を
踊ることになったのも
佐々木さんのお
おかげなんです



今度また
スタジオにも
遊びに来て
くださいね!

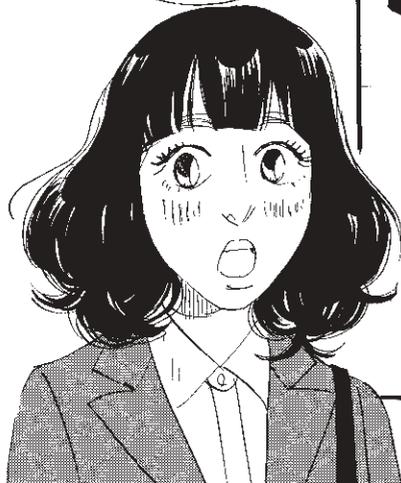
…全然
大丈夫じゃ
ないですよ

すごい舞台を
観た後に
すごい方から
すごい話を
聞いて…



あら
きみちゃん
大丈夫?

ありがとう



ベジャール
さんの
ほかの作品にも
興味が
湧きました

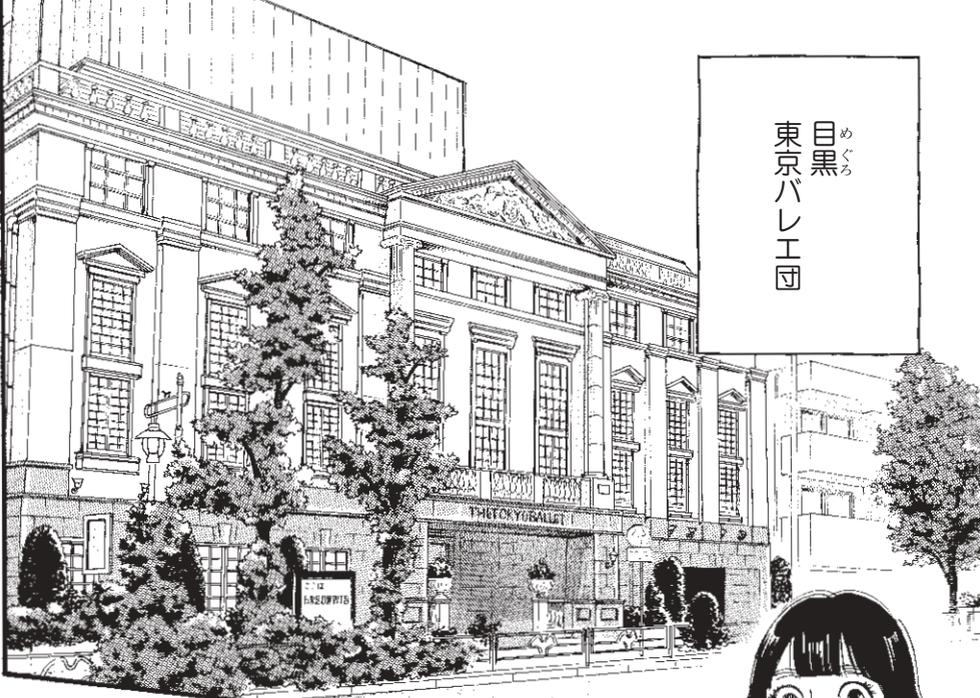
私その…
佐々木さんて
人のことを
もっと深く
知りたいです！



じゃあ
水香ちゃんにも
誘って
いただいたし

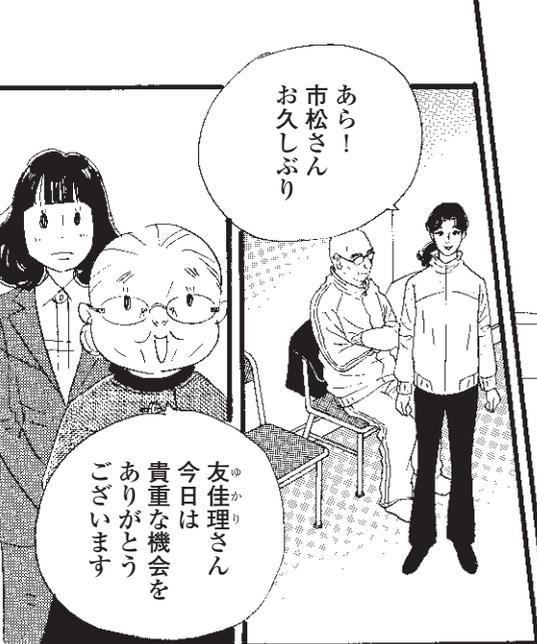
スタジオを
見学して
行きましよう

めぐろ
目黒
東京バレエ団



わあ……!!





あら！
市松さん
お久しぶり

友佳理さん
今日は
貴重な機会を
ありがとうございます

創立以来
東京バレエ団は
たくさんの方の
海外公演を
行っていて

※30カ国153都市で
758公演もの
実績があるのよ



えー！
すごい！
そうだったん
ですね

せっかくだから
ぜひこの施設内を
見学していらしてね

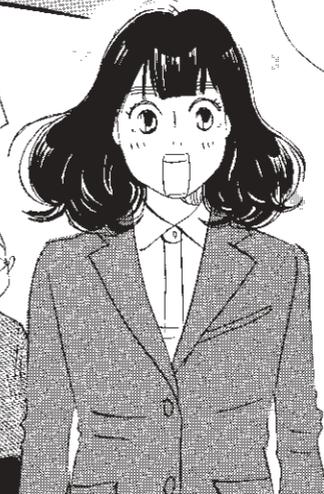
東京バレエ団
芸術監督
齋藤友佳理



このサロンは
佐々木さんが
こだわり抜いて
作ったお部屋よ

ひえ~~~~!!
夢の世界

まるで
劇場そのまま…!!





たとえばこの
中心にある
シャンデリアは
18〜19世紀の
ものなんだけど

佐々木さんが
8カ国まわって
探し出したものなの

シャンデリア
だけじゃないわ

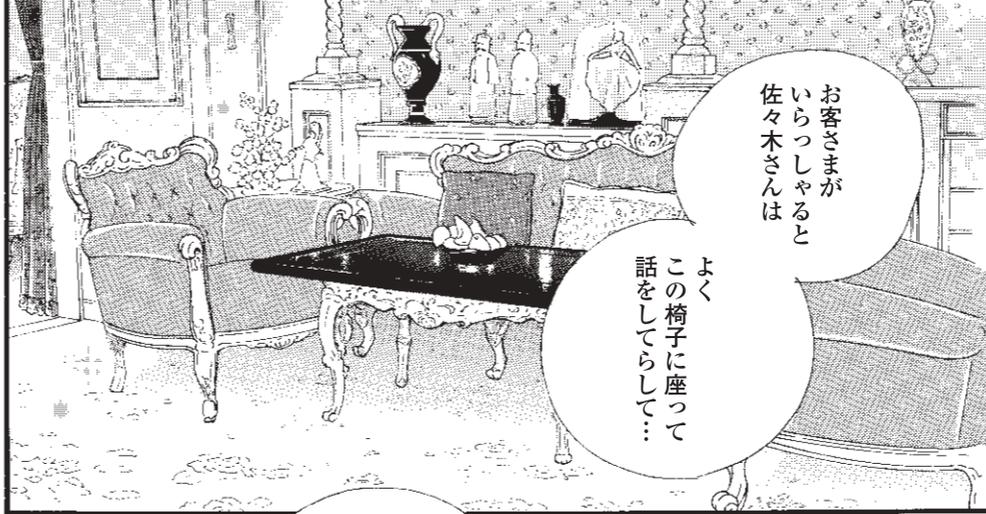
ここにあるものは
すべて
佐々木さんの
おもてなしの心

「ほ、あ……」

世界中から
いらっしやる
ゲストに
喜んでいただきたい
一心でね……



うわ——
素晴らしい
ですね……!!



お客さまが
いらつしやると
佐々木さんは

よく
この椅子に座って
話をしてらして…



そう思うと
こここのいたる所で
佐々木さんの
気配を感じるわ



今もまだ
お元気で

物かげからふつと
出ていらつしやり
そうな……

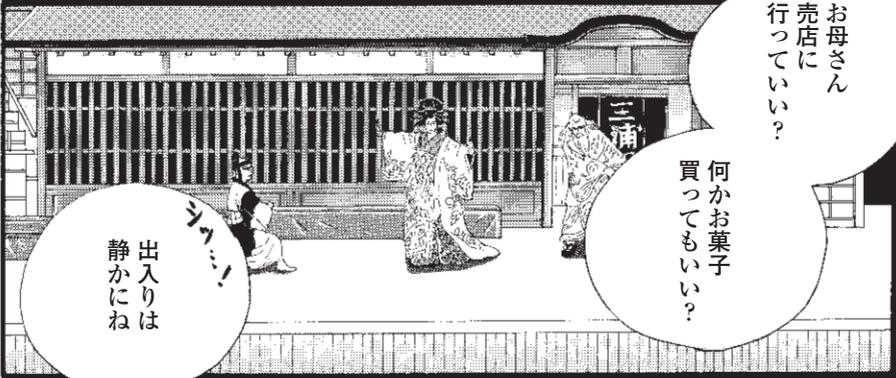
佐々木忠次は
1933年(昭和8年)に
6人兄弟の次男として
東京・本郷に生まれた



父親は実業家で
豊かな家庭に育ち

観劇好きな母が
子どもたちをよく
劇場へと連れて行った





お母さん
売店に
行っていい？

何かお菓子
買ってもいい？

出入りは
静かにね



ツグちゃん
おまえは
兄さんたちと
行かないの？

うんこれ
面白いよ！



すぐ
飽きて
しまうのね

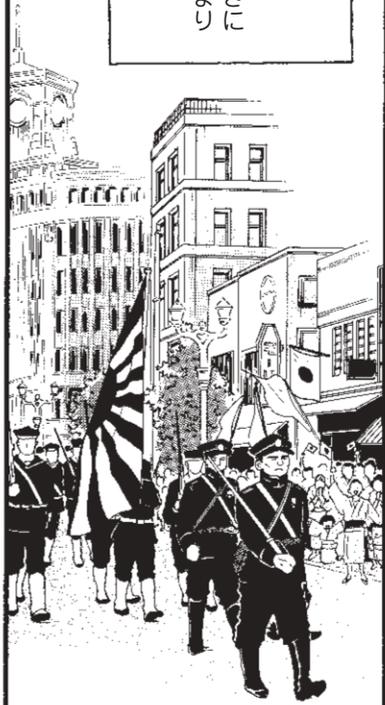
仕方ない
子たち…



…そう

じゃあ次から
連れてくるのは
おまえだけに
しようね

忠次が
小学3年生のときに
太平洋戦争が始まり



世の中は戦時体制へと
なだれ込んでいった

大きくなったら
立派な兵士に
なるぞ！

ぼくもだ！



ふん…

戦争の何が
いいんだ…



